

11.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・卒業式と退任式で使用する花の注文やお彼岸にお供えする花の注文も多いため、来客が多い。
		商店街（代表者）	それ以外	・年度末キャンペーン、販売促進用商品、改元、選挙関係、地域の事業関係等、多くの要因により大幅に景気が上昇した。
		一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・寒さも緩み、客足が増えている。当店でも客数は増加しており、同時に野菜の相場も落ち着き販売しやすく、相乗効果で売上も伸びている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・3月は前半まで悪い流れであったが、後半からは野菜の価格も安定し、季節らしい気温になったため、徐々に例年と同じ販売量となりつつある。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・暖冬で季節品が動かず、来客数も少なかった3か月前と比較すると、やや改善した。ただ、例年と比較すると売上は良くはない。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	お客様の様子	・移動のシーズンでもあり、新規の客が増加している。既存の客の来店も多くなり、売上は上昇している。
		その他専門店〔書籍〕（副店長）	販売量の動き	・ビル閉店の影響により、そのテナントの客が来店している。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	来客数の動き	・平日の来客数は、さほど伸びていないが、週末にかけては伸びている。
		居酒屋（経営者）	来客数の動き	・観光客が多く、特に訪日外国人が増加している。
		都市型ホテル（販売担当）	単価の動き	・料理の値上げに対応できるような宴会受注が増えた。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今年は県外からの客が多かった。タクシー利用も昼夜とあった。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・業種的に年度末と年度初めに販売が集中するため、2～4月は上向きになる。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・観光シーズンになり、珍しくボートの待ち時間に2時間待ちが出る。また、卒業旅行等の学生が多くなっている。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	競争相手の様子	・4月の介護報酬改定や、売上減少が想定された、軽度者に対する生活援助サービスの総合事業への移行等により、同業社の決算状況は上向き傾向となっている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・例年この時期に動くはずの商品の売行きが大変悪い。購入する商品の内容が変わっていることが影響している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・3月は来街客数が増加し売上も上昇する時期ではあるが、ここ数年は、そのようにならないことも多い。3か月前と比較しても、やや悪い状態が継続している。
		商店街（代表者）	単価の動き	・今月初めは高額商品が売れていたが、中旬以降は低額商品の販売が多くなっている。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	それ以外	・景気変動の特段の事情は見られない。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	販売量の動き	・年度末になり、棚卸し商材を格安で販売している大型店があり、当店でも同様な方法で販売したが、余り効果はなく例年どおりの売上である。
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・当施設は、核テナント撤退という特殊な条件の影響もあり、全体的に客の財布のひもは固い。	
	百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・全店舗合計の売上は前年並みを維持している。一部の店舗では食料品の催事をしたが、前年割れとなり、厳しい状況になっている。	

百貨店（業務担当）	お客様の様子	・震災復興等の需要も一巡感あるが、その反動で客の消費に対する慎重さは、これまで以上に強くなっている。既に必要なものは購入済みで、商品の需要が少なくなっている。
百貨店（プロモーション担当）	販売量の動き	・年度末、新生活、改元等でポジティブな意識になり、また気温の上昇に伴い春物衣料品の動きも順調で、消費はやや上向きである。
スーパー（店長）	来客数の動き	・今月に入り、販売促進を強化したため、売上が前年を超えている。前年との比較で客数は伸びておらず、販売促進の効果による一時的な売上増加になっている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店のコンビニエンスストアが3店舗閉店しており、客数と売上は前年を上回っている。購買意欲は前年と変わらず、客単価は前年並みである。必要以外の物は購入せず、景気は厳しい状況である。
スーパー（店長）	単価の動き	・1点の単価が下がり点数は上がっているが、セールの日を見ながら店を選んでいるために、客数が増えることはない。
スーパー（統括者）	来客数の動き	・ドラッグストアやディスカウントストアの新店舗がオープンしている。これまでであれば、新規オープン期間が過ぎれば来店客数は回復していたが、最近は落ち込んだままである。安値販売に客が引き寄せられており、利ざや確保も簡単ではなくなっている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3月は気候の変動も大きく、日々の来店客数も大きく変動している。春休みに入り家族連れのお客も多く来店し、売上が戻っている。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・中食系の食品やたばこの売行きが良い。その影響で、客単価は上がっているが、客数は減少傾向であり、売上は伸び悩んでいる。
コンビニ（エリア担当・店長）	お客様の様子	・例年ならば店の周りに桜が咲き、花見の客が多くなるが、今年は暖かい気候が続いているにもかかわらず、桜が咲いていない状態が続いており、花見の客数が前年よりも減少している。その分の売上が伸び悩んでいるが、満開の時期には若干期待ができる。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・相変わらず来客がほとんどない状態である。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・客の来店の変化は見られず、景気が伸び悩んでいる。
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・売上を回復するために、販売促進を行っているにもかかわらず、来客数が増加する気配がない。
衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・景気自体は良いとは言えないが、春になり気分も変わることで、売上は例年どおりである。ただし、高額な消費ではなく、イベント等でのまとめ買いの客が多い。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来店客数が前年比80～90%台で推移しており、増加する気配が全くない。
家電量販店（総務担当）	来客数の動き	・少子化や地方の景気回復の遅れにより、年々春商戦の規模が小さくなっていく。またこの時期ピークを迎える携帯電話も、契約内容の改訂が見込まれるため、前年割れを起こしている。
家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・客数は微減ながら、主要商品の単価アップにより、売上は前年を超えて推移している。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車の受注台数は、前年を上回り好調に推移しているが、メーカーから完成車の供給が少なく販売に結び付かない。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格は、やや上昇傾向である。移動シーズン及び卒業、入学シーズンに入り、販売量は好調に推移しており、前年を若干上回っている。
その他専門店 [ドラッグストア]（企画担当）	単価の動き	・過当競争により、粗利が低下している。

その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・今月の施設全体の売上は、横ばいであるものの、カテゴリー別にみると、暖冬とECの影響でファッション関連が大きく苦戦し、前年に対し5%ダウンしている。雑貨関連と飲食関連はほぼ横ばいで、サービス関連が売上を伸ばす月となっている。サービス業種の中でも、シネマ、振り袖レンタル、習い事テナントが好調で2けた以上伸びている。
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・販売数は前年に及ばないものの、単価が上がっている効果で売上は伸びている。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ルームサービスの利用が落ち込んでおり、単価も上がっていない。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの10連休は市場に踊らされた状態で、取消料が掛かる前にながりのキャンセルが発生した。一時期の満席で予約が取れない状況から一変して、空席が出ている。
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・入場者は前年より増える傾向にあり、売上も比例して前年を上回りながら推移している。新聞、テレビで景気後退の報道もあり、景気回復状況の判断まではいかない。
美容室（経営者）	販売量の動き	・年末年始の状態から比べると、若干良くなっているが、景気は上がっておらず横ばい状態である。しかし、美容業界では春は景気が上がるため期待をしている。
美容室（店長）	お客様の様子	・景気が回復したことによる客数上昇だけではなく、天候にも左右されている。
設計事務所（代表）	販売量の動き	・消費税上げの影響がそれほどない状況である。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・売行きが低迷している物件を値下げして販売したところ、非常に客の反応が良い。場所と値段によって、マンションを選択しており、今後も売上を伸ばすために、企業努力していく。
商店街（代表者）	お客様の様子	・年度末、年度初めには、卒業式など各家庭で行事があり、食費を増やす金銭的余裕がない。
商店街（代表者）	お客様の様子	・春物衣料品の動きが鈍い。客は購買に慎重で、冬物処分価格の衣料品のみ購入するため、全く利益が上がらない状態である。
一般小売店〔鮮魚〕（店員）	それ以外	・しけが続き、店頭に並べる魚種が少ない。ブリは多いが、それだけでは商売にならず、需要も少ないため景気は悪い。
百貨店（営業担当）	単価の動き	・自家需要中心の慎重な購買姿勢が、依然として継続している。パーゲセール等目的買い来店の催事が盛況なほか、クレジットカード催事利用の賢い買い方が定着している。ただ、催事、友の会、制服採寸等により、週末の来店客数は増加しており、また婦人雑貨・婦人服の購買単価がアップし、し好性の高い舶来ブランドや貴金属、画廊、美術工芸は好調である。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・季節要因もあり、平日に人の動きが出ている。しかし、購買につながらず悩ましい状況である。3月に入って寒暖の差があり、春物を購入する動きが止まっている。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・高価格商材の売行きが悪い。チラシ立上げ日や土日の売上が多い日に平日の販売量減少分をカバーし切れていない状況である。
衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・暖かくなれないことが影響しているため、婦人服売場の来店客は非常に少なく、ポイントアップ等の施策を行ってもほとんど効果がない。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・都市部でのキャンペーンは前年並みであるが、店舗での売上高は良くない。関連業者でも、2～3月の売行きは良くない。
その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	販売量の動き	・訪日外国人の消費を中心に売上が悪化している。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・大河ドラマ効果がなくなり、海外からの客も少なくなった。

	高級レストラン (支配人)	来客数の動き	・予約問合せが減少気味である。
	旅行代理店(企画)	それ以外	・海外旅行シェアを大幅に占める方面の直行便が運休するために、景気は若干悪くなっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・3月は年度末の関係で、若干忙しくはなっているが、全体的には、やや下降気味に景気が推移している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・歓送迎会等は例年に比べやや減少しており、この時期にしては夜の繁華街の活気が若干悪い。イベントや観光客の活気はあるものの、暖かく雨も少ないことで、タクシー需要が若干減少している。
	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・携帯ショップからの光回線取次件数が減少している。
	美容室(経営者)	単価の動き	・安くなるクーポンを必ず持ってくるような状況で、客の財布のひもが固い。
	設計事務所(所長)	単価の動き	・人件費や材料費等は上昇しているが、仕事に対する対価は変わらない。
	× 乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・自動車取得税廃止があるため、例年に比べ、3月決算期としては大きく販売量が減少している。
	× 高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・3月後半から選挙の時期になったため、企業関係の動きが鈍く、送別会の売上が例年とは違い伸びない。
企業 動向 関連 (九州)	-	-	-
	農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・天候不良ではあったが、市況が例年よりも超えてきた。実力のある生産者は、出荷量・売上を伸ばしつつある。
	電気機械器具製造業(取締役)	取引先の様子	・米中や欧州の景気先行き不安はあるものの、当社が扱う製品については、今までのところその影響は軽微である。
	経営コンサルタント(代表取締役)	取引先の様子	・仕事柄3月中旬まで、外に出る機会がほとんどなかったが、下旬には、人出が多くにぎわっている。客の話を聞いていても、月末にかけては、非常に客が多くなっている状態で、景気は良くなっている。
	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注は特別多くはないものの比較的安定している。
	家具製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・家具の動きは、新学期や新社会人向け需要が年々縮小している。主に人口減少に伴う縮小が要因であるが、価格も海外生産している大手家具販売会社の低価格が浸透しており、国内の小規模家具メーカーは価格面で全く太刀打ちできないのが現状である。この状況では、市場規模が増える要素は皆無である。
	化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・ほぼ例年どおりの販売量がある。
	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・例年、秋口から春先に掛けて商品の値動きは良いが、今年度は入札が悪い。当地の大手企業の決算では、国内が16%減少、海外では17%増加、全体的には1割弱の減少で推移している。
	金属製品製造業(事業統括)	受注量や販売量の動き	・年度末は、例年変化がない状態である。
	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・ユーザーの動きがいつもとは違う。貿易の相手国によって、コントロールされている。仕事はそれなりに動いているが、従来と比較すると若干落ち込んでいる。
	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・半導体設備向けユーザーの受注量の落ち込みが出ている。ユーザーから発注量の落ち込みについて説明がある予定で、今後の状況が心配である。
	金融業(従業員)	取引先の様子	・住宅販売が高水準で推移しているほか、乗用車や家電の販売も増加している。一方、百貨店では売上の伸び悩みから閉店の動きがみられる。
	金融業(営業担当)	取引先の様子	・住宅関連では、販売は好調であるが、中国輸出関連の製造業は、売上が足りない状況もあり、景気の良い業種と悪い業種が混在している。
	金融業(調査担当)	取引先の様子	・取引先の様子に大きな変化は見られない。旅行関連では、大型連休に関する引き合いが増加している。

	金融業（調査担当）	それ以外	・融資残高は中小企業向けを中心に、増加で推移している。ただし、不動産向け融資は慎重な姿勢に転じており、大手企業は、横ばいから若干減少の下方遷移になりつつある。しかしながら、地方企業の資金需要は、引き続き一定の水準を維持しており、3か月前に比べ大きな変化はない。
	新聞社〔広告〕（担当者）	取引先の様子	・広告出稿量が低調傾向である。
	経営コンサルタント（社員）	競争相手の様子	・原材料、配送料の高騰により、値上げを余儀なくされている企業が増えている。
	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先と意見交換するなかで、景気良好業況あるいは逆に悪化の話聞くことがないため、景気に変化はない。
	経営コンサルタント（社員）	競争相手の様子	・時期的な問題もあり、3月期は低調である声が多い。
	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・次年度向けの設備投資は旺盛である。機械器具製造等は、機械の老朽化更新等が多い。土木建築業も相変わらず仕事が多く、取引先の受注は堅調である。銀行からの中途採用者も増加中である。
	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・本来3月は伸びる月である。前年は移動、行楽での消費が伸びていたが、今年はかなり厳しい状況である。前年11～12月は好調であったが、年明け以降売上が伸びない。要因は、業界の特異性もあるが、スーパーマーケットで消費が伸びていないことが上げられる。産業界は供給過剰ということもあるが、暖冬が大きく影響している。
	繊維工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・賃金上昇分の工賃は上げられず、バブルがはじけてから現在まで工夫してきたが、賃金の上昇が経営を苦しめている状態である。物価が上がることに期待したい。
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・直近の受注が激減している。
	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	受注価格や販売価格の動き	・株価の暴落や原油下落、円高騰で相場が落ちているため、市場の動きが鈍っている。
	建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・現在は手持工事もあるが、官公庁の発注が止まっている。ゼロ債工事も発注されているが、受注でないのが現状である。新年度工事の発注を待つしかないが、5月に入らないと発注は見込めそうにない。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・本年のゴールデンウィークは10連休のため、各メーカーは、その期間に休業する可能性が高く、3月頃から集中して、各倉庫や物流会社に保管を依頼している。また、3月が決算月ということもあり、出庫が増加すると予想していたが荷動きが悪く、倉庫に貨物が滞留している状況である。
	金融業（営業）	取引先の様子	・製造業を始めとして受注が減少している。中国景気の鈍化からの世界景気停滞による影響と考えられる。
	不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・不動産投資物件の融資に関して、一部現金を準備できる客でない銀行の融資が通らない厳しい状況である。
	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	競争相手の様子	・市町村からの調査や計画策定、設計等の業務を委託されて請け負っているが、3月に発注された子供・子育て支援等の入札において、予算の1/4で落札する等の状況があり、仕事が少ないことで切迫している業者がみられる。
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・人件費と燃料費の高騰が原因で、運送会社より破格な値上げが続けてきている。これをすぐに荷主に対し、価格転嫁ができないため、利益減少は避けられない。当社だけではなく、どこも同じような状況で、この人手不足はかなり深刻である。
雇用関連	-	-	-
(九州)	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・新年度で補充されなかった求人の動きがあり、転職希望の動きも出始め、派遣市場は活発になる気配がある。

	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・4月からの求人も一段落している。派遣登録希望者が前月より増加しているが、直接雇用の求人も落ち着いた影響で、派遣で働く希望者が出ている。特に一般事務については、募集が少ないために、派遣登録している状況である。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	それ以外	・景気の良い状況が続く。年度末や新生活準備という側面もあるが、百貨店等は平日でも人が多く、広告も前年と比較して好調である。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・当所の求人については、前年度を上回り増加傾向に変わりはない。求職者の応募が少ない飲食店の接客業や高齢化に伴い開設が相次ぐ介護事業所、訪問看護ステーションの看護・介護・給食等のスタッフについては、求人増加が続いている。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・求人数が高止まりするなかで求職者数は減少しており、企業の人手不足は、今後も一層深刻な状況になる。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・この数か月、求人数が前年比でマイナスに転じ、その傾向が継続している。求人数は高止まりではあるが、一服感が感じられる。
	職業安定所 (職業紹介)	求人数の動き	・引き続き求人数の増加がみられ、管内有効求人倍率も高い水準で推移している。
	学校 [大学] (就職支援業務)	求人数の動き	・2020年卒業採用活動に向けて、企業の活動は活発化している。しかし、求人の受理件数は前年比で減少している。3月の広報解禁日前に企業側が既に動いていることが原因と推察する。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・原因は特定できないが、2～3か月前から派遣の求人数が減少している。
	人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・企業の新規採用数が前年とほぼ同じである。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・労働者派遣法による期間抵触日を迎える契約が多く、新規の需要より交代案件の受注が多い。
	求人情報誌製作会社 (編集者)	周辺企業の様子	・採用が決まる企業が増えている。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	それ以外	・最近コンビニ従業員に外国人労働者が増えている。人手不足が懸念されているが、首都圏だけでなく、今後地方でも増加する。人口減少が顕著に進んでいる。
	x	-	-